

## 平成15年度予算概算要求に向けた新規事業採択時評価の結果

【港湾整備事業、特定港湾施設整備事業】  
（直轄事業）

No. 1

事業名	事業主体	事業期間 (年度)	総事業費 (億円)	費用便益分析					需要予測等
				総便益 B (億円)	総費用 C (億円)	B / C	B - C (億円)	E I R R (%)	
のしるこう おおもりちく 能代港 大森地区 航路整備事業 (秋田県能代市)	国	H15 ~ H17	28	78	25	3.2	54	13.3	平成13年度 取扱貨物量 : 2,725千ト/年
ちばこう かつなんちゅうおうちく 千葉港 葛南中央地区 多目的国際ターミナル整備事業 (千葉県船橋市)	国	H15 ~ H18	25	98	22	4.5	76	14.9	平成11年度 取扱貨物量 : 195千ト/年
とうきょうわん まいはまおき 東京湾 舞浜沖 海域環境創造事業	国	H15 ~ H24	25	110	21	5.2	89	18.8	生態系や自然環境の回復・保全 (平成24年 推定背後圏世帯数 : 56,621世帯)
かわさきこう ひがしおうぎしまちく 川崎港 東扇島地区 基幹的広域防災拠点 (神奈川県川崎市)	国	H15 ~ H19	1,260 (60) 注3)	3,052 注4)	1,299	2.4	1,754	9.8	災害時における災害対策活動の核 としての機能(現地対策本部、海 外救援物資・人員の受け入れ、活 動要員のベースキャンプ等)
なごやこう 名古屋港 大型浚渫兼油回収船建造	国	H15 ~ H17	65	761	319	2.4	442	41.9	・浚渫土砂処分コストの軽減 (年間175,000m <sup>3</sup> ) ・油流出事故による被害額の軽減 (年間482KL)
くれこう あがちく 呉港 阿賀地区 臨港道路整備事業(阿賀マリポ リ線) (広島県呉市)	国	H15 ~ H19	120	697	107	6.5	590	23.0	平成19年度 予測交通量 : 9,280台/日

注1) 本表の値は、概算値であり、今後コスト縮減の検討等により変更することがある。

2) 川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点の表中の値は、東京都有明の丘地区(公園)と川崎港東扇島地区(緑地)の双方の整備を一体的に評価したものである。

3) ( )内は港湾整備事業に係る事業費で内数である。

4) 表中の災害時の便益の他、常時の港湾緑地の便益は、338億円と評価される。

(直轄事業)

No. 2

事業名	事業主体	事業期間 (年度)	総事業費 (億円)	費用便益分析					需要予測等
				総便益 B (億円)	総費用 C (億円)	B / C	B - C (億円)	E I R R (%)	
博多港 須崎ふ頭地区 多目的国際ターミナル整備事業 (福岡県福岡市)	国	H15 ~ H24	148	381	110	3.5	272	18.9	平成12年度 取扱貨物量 : 994千ト/年
那覇港 浦添ふ頭地区 臨港道路整備事業(浦添線) (沖縄県浦添市)	国	H15 ~ H21	244	1,635	215	7.6	1,421	20.1	平成22年度 予測交通量 : 39,500台/日

注1) 本表の値は、概算値であり、今後コスト縮減の検討等により変更することがある。

(補助事業)

No. 3

事業名	事業主体	事業期間 (年度)	総事業費 (億円)	費用便益分析					需要予測等
				総便益 B (億円)	総費用 C (億円)	B / C	B - C (億円)	E I R R (%)	
なかつこう たじりちく 中津港 田尻地区 廃棄物海面処分場整備 (大分県中津市)	大分県	H15 ~ H17	19	74	17	4.4	57	22.5	処分コストの軽減 (平成19年度 土砂総受入予定量 : 780千m <sup>3</sup> )

注1) 本表の値は、概算値であり、今後コスト縮減の検討等により変更することがある。